

■発表テーマ	社会貢献活動「ハチドリチャレンジ」の推進
■副題	～いま、私にできること～SDGsの実践へ～
■法人・事業所名	社会福祉法人昭徳会 社会貢献事業推進室（所属：高浜安立荘）
■職種・発表者	
社会貢献事業推進室室長 中村範親	
<p><取り組んだ課題></p> <p>社会福祉法人の役割やあり方については、平成28年4月からの社会福祉法改正に基づき「地域における公益的な取り組み」を実践することが責務として位置付けられている。</p> <p>しかし、「地域における公益的な取り組み」への実践を意識している法人・施設は多いが、職員個人のレベルまで落とし込んだ取り組みはまだ不十分である。</p> <p>当法人は、保育・児童・障がい者・高齢者という多岐にわたる分野を連携しており、先駆的な役割を積極的に担っていく使命があると考え、その取り組みを職員にわかりやすく伝えることとした。</p> <p>実践に際しては、取り組む目的にストーリー性を持たせ、さらには理解を促進するためにカードゲームを導入して、国際的な感覚のもとで社会貢献活動を推進していくことを目指すものである。</p> <p><具体的な取り組み></p> <ol style="list-style-type: none"> ①活動をわかりやすく伝える（社会貢献活動リーフレットを作成する） ②先進法人・施設から学ぶ（「ごちゃまぜ」で地域創生に挑んでいる先進施設を視察研修する） ③先進企業から学ぶ（CSR活動に力を入れている企業から学ぶ） ④国際貢献の取り組み（介護技能実習制度（ベトナム・インドネシア）を導入する） ⑤「ハチドリチャレンジ」の推進（法人理念・初代理事長の意志のひもとき・SDGsの取り組み） ⑥カードゲーム「2030SDGs」ファシリテーター資格取得（理解を深めるワークショップ開催） ⑦「ハチドリチャレンジ」シンボルマーク制定（活動の旗印としてのオフィシャルマークを作成） ⑧「ハチドリ基金」の創設（ボランティア活動専用の基金を創設し安定的な活動資金を確保する） <p><活動の成果と評価></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ハチドリチャレンジ」の名のもとに実践している令和1年度のボランティア参加率は、正規職員が70.3%、非常勤職員が54.7%となっているが、徐々に活動実績も上昇傾向にある。 ・活動の旗印として制作したシンボルマークは、今後の活動時にオフィシャルマークとして活用する。 ・国際的な取り組みとリンクしているツールである「2030SDGsカードゲーム」を活用したワークショップ（体験研修）を体験することで、さらなる周知・実践に繋げていく。 <p><今後の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ハチドリチャレンジ」の名のもとに全職員のボランティア活動職員参加率100%達成を目指す。 ・2015年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択された「SDGs（持続可能な開発目標）」に対する理解を深め、職員が自発的に動けるような活動へ繋げる一助とする。 ・ボランティア基金「ハチドリ基金」を活用することにより、グローバルな視野で取り組む法人・施設になることを目指す。 	